

## 地(知)の拠点 推進事業ニュース

富山国際大学 地(知)の拠点事業推進室

TEL076-483-8000(内線:2044)

### 「とやま塾 in TOGA」に本学学生が参加

富山県内の高等教育機関が連携して取り組んでいる「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」(COC+)の一環として、『とやま塾 in TOGA』が開催(9月12日~14日)されました。

ALL富山COC+事業に参画する大学の学生が、合宿形式で地域課題について学び、ともに考え、解決を探究するセミナーで、本学からは、大崎はるきさん(子ども育成・4年)、中島康輔さん(現代社会・4年)、松葉迅斗さん(現代社会・4年)、畑琢也さん(現代社会・2年)の4名(富山大学、富山県立大学から各4名)が参加しました。

この内容は、県内新聞各紙およびNHK他2局のTVで報道されました。



富山大学・富山県立大学・富山国際大学の3学長・南砺市長および地元のメンバー(基礎学習講師・事例報告をいただいた方々)を交えての記念写真



本学からの参加メンバー

### 【実施内容】

**【初日】** 利賀村に関する歴史、地域課題について基礎学習をした後、南砺市長をはじめ地域創生に携わっておられる地元の方々に3大学の学長を交えて、夕食を兼ねた懇談・懇親の場が設けられました。

**【2日目】** 芸術公園や瞑想の郷で、地元の素晴らしい文化や自然に触れ、利賀村のよさを実感するとともに、蕎麦打ち、ウドの株わけなど山村地のリアルな体験をした後、利賀村の良さを求めて移住してきた皆さんの実体験を聞きながら懇談しました。

**【最終日】** それまでに学び、体験したことに基づき、グループワークによって課題解決につながる成果発表を行い、閉塾とともに3大学長名による「とやま塾 in TOGA修了証」が授与されました。

**\*\* まったく交流のなかった学生同士が、世代を超えた地元の人々とも一緒に学び、小学校跡を活用した宿泊施設で寝食を共にし、地域課題に挑戦するという経験は、刺激に満ちた貴重な機会となりました \*\***

### 【 3グループによる課題解決提案(プレゼン発表) 】

- ・合宿地としての地域活性化
- ・地域おこし協力隊による利賀の活性化
- ・利賀農業推進計画

(3大学学生混合のメンバー構成)

### 【 参加者の感想 】

**大崎はるきさん(子ども育成・4年)** 「50年後はどこも利賀村と同じ高齢化率になる」と聞き他人ごとでないと感じた。課題解決の提案をまとめたがこれからは行動が必要と思う。今後は女子にもぜひ参加して欲しい。

**中島康輔さん(現代社会・4年)** 利賀村の自然・文化的魅力を知るとともに、地域を活性化させる様々な考え方があることを知り、新鮮だった。プレゼンのまとめの経験を卒論作成に活かしていきたい。

**松葉迅斗さん(現代社会・4年)** 学長さんなど普段会うことのできない人達との交流が貴重な経験だった。色々な議論を交わす中で、他大学の学生も自分たちと変わらないと感じた。初対面でも普通に話せる自分を発見できた。

**畑 琢也さん(現代社会・2年)** 2年生が一人で、プレゼンも得意ではなかったのが不安だったが、今回先輩方からコツを学んだり、フォローをしてもらえた事が嬉しかった。実際に発表したことで自信がついた。



蕎麦打ち体験



ウドの株わけ作業



グループワーク



地元の方々に前にプレゼン

## 来年度も利賀村でパートIIを実施予定です！

#### 地(知)の拠点推進事業(COC/COC+)とは

本学は、平成22年以降「大学生の就業力支援事業および支援推進プログラム」および「産業界のニーズに対応した教育改善・充実整備事業」に5年間に渡って連続して選定されました。その延長上で、平成27年度には、富山大学を申請校とする「地(知)の拠点大学における地方創生事業(COC+)」の「ALL富山COC+事業」に参加校として加わると同時に、「とやま地域創生人材育成プログラム」によって、特に優れた取組として認められた大学等8校の一つとして、平成27年度「地(知)の拠点大学」(COC)の認定を受けました。